

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	みなべ町立高城中学校	瀬戸敬二
学校所在地		
〒 645-0205 tel 0739(75)2224	和歌山県 日高郡 みなべ町滝81 fax 0739(75)2530	
担当者名	役職名・担当教科	
長岡幸二	教諭・社会科	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、和歌山県のほぼ中央部に位置し田辺市・印南町と隣接しており、校区である清川地区と高城地区は、「南高」とよばれる良質の梅を生産する地域である。また、「紀州備長炭」とよばれる白炭の生産・販売にも力を入れるなど、若者の都市部への流失に一定の歯止めをかけてきた地域である。しかしながら、近年の急速な少子化傾向は両地区にも及び、平成26年4月をもって旧清川・高城両中学校を統合し新たな高城中学校として出発することとなった。</p> <p>本校の総合的な学習の時間において、世界農業遺産に認定されている梅システムや地域の未来についての学習を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
1・2学年 26名	職員 5名	世界遺産センター・熊野古道
実践研究テーマ		
地域の町づくりや地域活性化について		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域を知ろう」	
<p>〔キーワード〕 梅の里学習 地域の文化・歴史</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」を学ぶことで郷土和歌山に対する理解を深める。 世界遺産講座や現地学習を通して、その価値を理解し尊重するとともに、主体的にそれらを継承していこうとする態度を養う。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 4 時間 （「「紀伊山地の霊場と参詣道」について学ぼう」 4 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産センター職員から紀伊山地の霊場と参詣道についての講座を受けた。 世界遺産マスターや世界遺産センター職員の方々にガイドをしていただきながら現地学習を行った。 		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習（本校）	熊野古道のルートや熊野三山、八咫鳥の神話について事前学習を行った。	ワークシート
2	世界遺産講座 世界遺産センター	世界遺産センター職員から紀伊山地の霊場と参詣道についての講座を受けた。	観察・ワークシート
3	現地学習 （三軒茶屋跡から熊野本宮大社を 経て大斎原）	世界遺産マスターや世界遺産センター職員の方々にガイドをしていただきながら3kmの現地学習を行った。	観察
4	ふり返り（本校）	現地学習の後日に、感想文を書かせ、ふり返りを行った。また、「梅の里学習」に活かせることを各自に考えさせた。	感想文
5			

〔単元学習の成果と課題〕

総合的な学習の時間で世界農業遺産に認定されている「みなべ・田辺の梅システム」や地域の未来の活性化への学習を行っている。みなべ町の歴史についても熊野古道についての関わりもあり、今回の学習において世界遺産について学ぶことにより自分たちのふるさとであるみなべ町にも深く目を向けることができた。

〔世界遺産学習の効果〕

地域の町づくりや地域活性化について考えていく中で、今回の学習は大変有意義であった。地元の岩代王子、千里王子、三鍋王子と世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」との関わりがよく分かり熊野古道とはどういうものか、どうして多くの人々が熊野を目指したのかを学習することができた。自分たちのふるさとであるみなべ町の活性化への学習にも大いに役立つと考える。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

本校の総合的な学習の時間において、地域の未来についての提案を3年生で行うが、今回の学習だけではなく、熊野三山や高野参詣道についての学習も組み入れることでより深く郷土「わかやま」について理解を深められると考える。「わかやま」を深く知ることで、自分たちのふるさとであるみなべ町への理解もさらに深まるのではないかと考える。

生徒の感想

感想～校外学習(熊野古道)を終えて～

今日は熊野古道を歩いて、はじめは、約3kmで短
そうに思いましたが、実際に歩いてみるととても長く
感じられました。また、道が江戸時代のままと言わ
れていた石でできた道は、歩く時につまみずい
で、歩きにくかったのですが、ここを、江戸時代の人
と同じように歩いていたと考えると、すごいなと
思いました。はじめの講座では、山伏の人が
話してくれましたが、人間と自然が共同で
生きる、という考えのことが分かりました。踊り
念仏の一遍の戸所は、ちょうど、私達が勉強し
ていたはんで、昨日、単元テストをしたばかり
だったので、特に理解しやすかったです。私達
が歩いた道のりだけでなく、白河
天皇と後白河上皇は、私達が歩いた道のりよ
りも、とても長い道を何度も何度も歩いたとき
いて、すごいなと思いました。けがなく歩くことがで
き、良かったです。

感想～校外学習(熊野古道)を終えて～

熊野本宮大社、熊野川、なちの滝、熊野古道はどれも文化遺産で、
熊野古道は距離が347.7kmも登録されていることが分かりました。
世界遺産は、文化や自然を保護、保全し、後世に継承していく目的で、文化、
自然、複合の3種類のうち文化遺産が $\frac{3}{4}$ がしめていて、ヨーロッパに
99あることが分かりました。また、1位がイギリスと中国で、日本は12位と意
外と99いことが知れて、23件あるうち4件が自然遺産だということも教えて
もらいました。熊野古道を歩いたら、江戸時代に整備された道が、「71」や
「72」、「73」などの数字が刻まれたものがありました。これは、もしけがとか
をしたら、「0と0の間にはまう」と言っ場所をしめすためにもあると知れま
した。世界遺産講座では、難しい言葉もいっぱいあったけど、なぜ
世界遺産になったのか、山伏の身につけているものが歴史的につながっているなど
勉強することがたくさんあって、熊野古道は初めてすごい場所だと思いました。
熊野古道を歩いている時、ガイドさんが71をだしてくれたり、木の話をしてくれ
たり、たくさんのお話をしゃべってくれて、とても楽しかったです。大倉原の鳥居はと
ても大きくて、高さよりも幅のほうが大きいことも教えてくれて、びっくりしまし
た。1つ1つかとても貴重な体験になって良かったです。

感想～熊野古道を歩いて～

熊野古道を歩いてみて、深い歴史にふれたことが
できて良かったなと思いました。
実際に歩いたことはなかったのですが、どうゆう所か分から
なかったけど歩いてみて江戸時代の頃の石が古からのもの
がたくさん残っていてすごかったです。
「神道」「神仏習合」「修験道」「密教」「熊野詣」は3つの
ものから成り立っていることが分かりました。
世界遺産登録の目的は保護・保全、後世へ継承す
ることだと知ったので、この学習をとおして教えてもらった
ことを忘れずに自分たちが後世につないでいくことが大切だ
なと思いました。
自分たちの住んでいる県に「世界遺産」があるというほこりを持って
この素晴らしい熊野古道を残しておかないといけないと改め
て感じました。



感想～熊野古道を歩いて～

熊野古道を歩いたのは初めてで、熊野古道を歩いてみるととてもきれいで感動しました。大きい石でつくられた道は昔、人が下から持って上かっていたと聞いて驚きました。トラックや機械がない時代にこの道がつけられたということにすごいと思いました。どれだけ苦労して熊野古道がつけられたのかよく分かりました。また、ガイドさんがどちらかで話をしてくれたのがとてもおもしろくて、熊野古道のことがよく分かりました。

午前で世界遺産や熊野古道について話をしてくれた冊子に、「はいばせすに、受り入れる」という言葉が心にひびきました。私のその言葉を心の中に入れて文化に触れたり、伝統を守ってきたかと思いました。

また、和歌山全体だけでなくみなべ町の伝統や文化を調べてみました。



感想～熊野古道を歩いて～

熊野古道は初めて歩いて、3kmくらいしか歩けなかったからあんまりつかれなかったです。「なるほど」が「へえ〜。そうなんだ」となることが多かったです。何れいば、今日歩いたところでもけっこう横幅が広がった所があって、昔は着物のすそがすれるほど人が多かったと聞いてびっくりしました。それに、昔の偉い人たちが何回も通ったと思うとすごいと思います。ちよとよ、道のところはすごくいいながめでした。歩く道はとんとと雨で削られて昔よりすごく深くなったことには驚きました。京都と大阪、そして和歌山がつながっていて、それをとほでいくと行きは2週間かかるなんて初めて知りました。34回も歩いた偉人ともう二度と歩かないと日記に残した偉人がいると聞いて、「人によって感じ方が違うんだな」と思いました。私はもう一回、もう少し長い距離を歩いてみたいなと思いました。

